

# 決算短信補足資料

(2016年3月期 第2四半期決算)

2015年10月30日

西日本旅客鉄道株式会社

# 1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2015年3月期 2Q累計実績	2016年3月期 2Q累計実績	対前年		2015年3月期 通期実績	2016年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回(7/30) 予想	今回(10/30) 予想	増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	C	D	E	E-C	E/C	E-D
<b>【連結】</b>										
営業収益	6,515	7,094	+578	108.9	13,503	14,115	14,370	+866	106.4	+255
営業利益	821	1,105	+283	134.5	1,397	1,620	1,715	+317	122.7	+95
経常利益	724	997	+272	137.6	1,219	1,435	1,530	+310	125.4	+95
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	544	660	+116	121.3	667	905	960	+292	143.9	+55
<b>【単体】</b>										
営業収益	4,407	4,787	+380	108.6	8,909	9,375	9,490	+580	106.5	+115
運輸収入	3,948	4,277	+328	108.3	7,970	8,360	8,470	+499	106.3	+110
営業費用	3,715	3,882	+167	104.5	7,789	8,080	8,140	+350	104.5	+60
人件費	1,169	1,152	▲ 17	98.5	2,330	2,330	2,330	▲ 0	100.0	—
物件費	1,662	1,783	+120	107.2	3,690	3,845	3,905	+214	105.8	+60
動力費	227	227	+0	100.1	453	470	465	+11	102.6	▲ 5
修繕費	620	657	+36	105.9	1,467	1,495	1,535	+67	104.6	+40
業務費	815	898	+83	110.2	1,769	1,880	1,905	+135	107.7	+25
減価償却費	611	631	+19	103.2	1,260	1,320	1,320	+59	104.7	—
営業利益	691	904	+212	130.7	1,120	1,295	1,350	+229	120.5	+55
経常利益	575	789	+213	137.1	921	1,110	1,165	+243	126.5	+55
四半期(当期)純利益	390	534	+144	136.9	473	725	760	+286	160.4	+35

## 2.単体損益計算書

(単位:億円)

	2015年3月期 2Q累計実績 A	2016年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	4,407	4,787	+380	108.6
運輸収入	3,948	4,277	+328	108.3
その他収入	458	510	+51	111.3
営業費用	3,715	3,882	+167	104.5
人件費	1,169	1,152	▲ 17	98.5
物件費	1,662	1,783	+120	107.2
動力費	227	227	+0	100.1
修繕費	620	657	+36	105.9
業務費	815	898	+83	110.2
線路使用料等	92	134	+42	145.8
租税公課	178	181	+2	101.5
減価償却費	611	631	+19	103.2
営業利益	691	904	+212	130.7
営業外損益	▲ 116	▲ 115	+0	99.3
営業外収益	15	14	▲ 0	—
営業外費用	131	130	▲ 1	—
経常利益	575	789	+213	137.1
特別損益	▲ 27	7	+34	—
特別利益	37	58	+21	—
特別損失	64	51	▲ 13	—
四半期純利益	390	534	+144	136.9

### 3.運輸収入の主な増減要因

(単位: 億円)

		2016年3月期 2Q累計実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	2,205	+359 (119.5%)	基礎トレンド(104.0%)	+73	
			特殊要因	北陸新幹線開業	+240
				曜日配列(シルバーウィーク)	+23
				GWご利用増	+8
				お盆期間ご利用増	+5
				インバウンド	+1
				シニアマーケット取り込み	+1
			等		
在来線	近畿圏	+38 (102.6%)	基礎トレンド(101.2%)	+17	
			特殊要因	インバウンド	+7
				お盆期間ご利用増	+5
				GWご利用増	+4
				曜日配列(シルバーウィーク)	+2
	等				
	その他	▲ 70 (88.7%)	基礎トレンド(100.8%)	+4	
			特殊要因	並行在来線分離	▲ 87
				曜日配列(シルバーウィーク)	+3
				お盆期間ご利用増	+3
	等				
	在来線計		▲ 31 (98.5%)		
運輸収入計		+328 (108.3%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

# 4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位:億円)

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2015年 3月期	2016年 3月期	対前年	2015年 3月期	2016年 3月期	対前年
全社計	3,948	4,277	+328 108.3%	2,040	2,218	+178 108.8%
新幹線	1,846	2,205	+359 119.5%	962	1,162	+199 120.8%
定期	46	50	+4 109.2%	22	25	+2 111.0%
定期外	1,799	2,154	+355 119.7%	939	1,137	+197 121.0%
在来線	2,102	2,071	▲ 31 98.5%	1,077	1,056	▲ 21 98.0%
定期	724	717	▲ 7 99.0%	359	356	▲ 3 99.2%
定期外	1,378	1,354	▲ 24 98.2%	717	699	▲ 18 97.4%
近畿圏	1,480	1,519	+38 102.6%	749	766	+17 102.3%
定期	584	587	+2 100.4%	291	292	+0 100.3%
定期外	896	932	+36 104.1%	457	474	+16 103.6%
その他	621	551	▲ 70 88.7%	328	289	▲ 38 88.2%
定期	139	130	▲ 9 93.2%	68	64	▲ 3 94.5%
定期外	482	421	▲ 60 87.4%	259	224	▲ 34 86.6%

	2Q累計実績(4/1~9/30)			2Q実績(7/1~9/30)		
	2015年 3月期	2016年 3月期	対前年	2015年 3月期	2016年 3月期	対前年
全社計	28,027	29,526	+1,499 105.3%	14,343	15,149	+805 105.6%
新幹線	8,885	10,256	+1,371 115.4%	4,680	5,439	+758 116.2%
定期	371	409	+37 110.1%	191	202	+10 105.5%
定期外	8,513	9,846	+1,333 115.7%	4,488	5,236	+748 116.7%
在来線	19,142	19,270	+128 100.7%	9,663	9,709	+46 100.5%
定期	11,551	11,746	+195 101.7%	5,643	5,759	+116 102.1%
定期外	7,590	7,523	▲ 66 99.1%	4,020	3,950	▲ 69 98.3%
近畿圏	14,519	15,017	+497 103.4%	7,268	7,513	+244 103.4%
定期	9,360	9,625	+265 102.8%	4,587	4,726	+138 103.0%
定期外	5,159	5,391	+232 104.5%	2,681	2,786	+105 103.9%
その他	4,622	4,252	▲ 369 92.0%	2,394	2,196	▲ 197 91.7%
定期	2,191	2,120	▲ 70 96.8%	1,055	1,033	▲ 22 97.9%
定期外	2,431	2,132	▲ 299 87.7%	1,338	1,163	▲ 175 86.9%

# 5.単体営業費用の主な増減要因

(単位:億円)

科目	2016年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,152	▲ 17 (98.5%)	・退職手当減▲5 等
動力費	227	+0 (100.1%)	
修繕費	657	+36 (105.9%)	・撤去工事費増+13 ・構造物対策経費増+9 等
業務費	898	+83 (110.2%)	・会社間清算増+34 ・広告宣伝費増+11 ・発売手数料増+7 等
線路使用料等	134	+42 (145.8%)	・北陸新幹線
租税公課	181	+2 (101.5%)	
減価償却費	631	+19 (103.2%)	・北陸新幹線用車両 等
営業費用計	3,882	+167 (104.5%)	

# 6.連結損益計算書

(単位:億円)

	2015年3月期 2Q累計実績 A	2016年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	6,515	7,094	+578	108.9
営業費用	5,693	5,988	+294	105.2
営業利益	821	1,105	+283	134.5
営業外損益	▲ 97	▲ 108	▲ 11	111.5
営業外収益	37	23	▲ 13	-
営業外費用	134	131	▲ 2	-
経常利益	724	997	+272	137.6
特別損益	31	5	▲ 26	-
特別利益	109	66	▲ 42	-
特別損失	77	61	▲ 16	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	544	660	+116	121.3
<i>四半期包括利益</i>	<i>555</i>	<i>676</i>	<i>+120</i>	<i>121.7</i>

# 7.セグメント情報

(単位:億円)

	2015年3月期 2Q累計実績 A	2016年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益*1	6,515	7,094	+578	108.9
運輸業	4,293	4,661	+368	108.6
流通業	1,113	1,142	+29	102.7
物販・飲食	659	722	+62	109.5
百貨店	411	380	▲ 30	92.5
不動産業	429	533	+104	124.3
ショッピングセンター	249	283	+34	113.7
不動産賃貸・販売*3	171	241	+69	140.9
【分譲事業】	【27】	【94】	+66	347.5
その他	680	756	+76	111.2
ホテル	167	177	+10	106.0
旅行	195	188	▲ 7	96.4
営業利益*2	821	1,105	+283	134.5
運輸業	631	842	+211	133.5
流通業	19	30	+11	159.4
物販・飲食	27	29	+2	110.0
百貨店	▲ 9	▲ 0	+9	-
不動産業	140	176	+36	126.0
ショッピングセンター	38	47	+9	124.7
不動産賃貸・販売	50	73	+22	145.8
その他	22	50	+27	222.1
ホテル	8	13	+5	166.1
旅行	▲ 2	▲ 4	▲ 1	-

\*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

\*2 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

\*3 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。



# 8.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	2015年3月期 期末 A	2016年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	27,864	27,796	▲68
負債	19,397	18,777	▲620
純資産	8,467	9,019	+552
長期債務残高	10,042	10,206	+164
【長期債務平均金利(%)】	【2.40】	【2.33】	【▲0.07】
新幹線債務	1,676	1,525	▲151
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.05】	【6.14】	【+0.09】
社債	4,799	4,949	+150
【社債平均金利(%)】	【2.08】	【2.05】	【▲0.03】
自己資本比率	28.8	30.8	+2.0
1株当たり純資産(円)	4,138.65	4,417.99	+279.34

	2015年3月期 2Q累計実績 A	2016年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	617	882	+264
投資活動によるキャッシュフロー	▲779	▲766	+13
フリーキャッシュフロー	▲161	116	+277
財務活動によるキャッシュフロー	▲101	32	+133
現金及び現金同等物の増減	▲263	148	+411
現金及び現金同等物の期末残高	466	1,001	+535

# 9.単体業績予想

(単位:億円)

	2015年3月期 通期実績 A	2016年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,909	9,375	9,490	+580	106.5	+115
運輸収入	7,970	8,360	8,470	+499	106.3	+110
その他収入	939	1,015	1,020	+80	108.6	+5
営業費用	7,789	8,080	8,140	+350	104.5	+60
人件費	2,330	2,330	2,330	▲ 0	100.0	—
物件費	3,690	3,845	3,905	+214	105.8	+60
動力費	453	470	465	+11	102.6	▲ 5
修繕費	1,467	1,495	1,535	+67	104.6	+40
業務費	1,769	1,880	1,905	+135	107.7	+25
線路使用料等	187	265	265	+77	141.1	—
租税公課	320	320	320	▲ 0	100.0	—
減価償却費	1,260	1,320	1,320	+59	104.7	—
営業利益	1,120	1,295	1,350	+229	120.5	+55
営業外損益	▲ 198	▲ 185	▲ 185	+13	93.0	—
営業外収益	65	66	66	+0	—	—
営業外費用	264	251	251	▲ 13	—	—
経常利益	921	1,110	1,165	+243	126.5	+55
特別損益	▲ 45	▲ 30	▲ 30	+15	—	—
特別利益	606	—	—	—	—	—
特別損失	651	—	—	—	—	—
当期純利益	473	725	760	+286	160.4	+35

# 10.運輸収入の見通し

(単位:億円)

	2015年3月期 通期実績 A	2016年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
新幹線	3,759	4,249	4,346	+587	115.6	+97
在 来 線	近畿圏	2,962	3,007	+56	101.9	+12
	その他	1,248	1,103	▲ 144	88.5	+0
	在来線計	4,210	4,110	4,123	▲ 87	97.9
運輸収入計	7,970	8,360	8,470	+499	106.3	+110

※荷物収入は金額些少のため省略

# 11.単体営業費用の見通し

(単位:億円)

科目	2016年3月期 通期見通し			
		対前年	主な対前年増減要因	対前回
人件費	2,330	▲ 0 (100.0%)		-
動力費	465	+11 (102.6%)	・電力料金値上げ・再エネ賦課金増 等	▲ 5
修繕費	1,535	+67 (104.6%)	・構造物対策経費増 等	+40
業務費	1,905	+135 (107.7%)	・会社間清算増 ・広告宣伝費増 ・電力料金値上げ・再エネ賦課金増 等	+25
線路使用料等	265	+77 (141.1%)	・北陸新幹線	-
租税公課	320	▲ 0 (100.0%)		-
減価償却費	1,320	+59 (104.7%)	・北陸新幹線用車両 等	-
営業費用計	8,140	+350 (104.5%)		+60

# 12.連結業績予想

(単位:億円)

	2015年3月期 通期実績 A	2016年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	13,503	14,115	14,370	+866	106.4	+255
営業費用	12,105	12,495	12,655	+549	104.5	+160
営業利益	1,397	1,620	1,715	+317	122.7	+95
営業外損益	▲ 177	▲ 185	▲ 185	▲ 7	104.1	-
営業外収益	90	76	76	▲ 14	-	-
営業外費用	268	261	261	▲ 7	-	-
経常利益	1,219	1,435	1,530	+310	125.4	+95
特別損益	7	▲ 55	▲ 55	▲ 62	-	-
特別利益	695	-	-	-	-	-
特別損失	687	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	667	905	960	+292	143.9	+55
1株当たり当期純利益(円)	344.58	467.45	495.85	-	-	-

# 13.連結業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	2015年3月期 通期実績 A	2016年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/30) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益*1	13,503	14,115	14,370	+866	106.4	+255
運輸業	8,684	9,136	9,251	+566	106.5	+115
流通業	2,201	2,290	2,310	+108	104.9	+20
物販・飲食	1,336	1,412	1,432	+95	107.2	+20
百貨店	782	802	802	+19	102.5	—
不動産業	872	1,026	1,066	+193	122.2	+40
ショッピングセンター	506	562	572	+65	112.9	+10
不動産賃貸・販売*2	347	447	477	+129	137.1	+30
【分譲事業】	【58】	【153】	【184】	+125	315.7	+30
その他	1,744	1,663	1,743	▲ 1	99.9	+80
ホテル	348	353	358	+9	102.6	+5
旅行	425	429	414	▲ 11	97.4	▲ 15
営業利益	1,397	1,620	1,715	+317	122.7	+95
運輸業	1,006	1,163	1,218	+211	121.0	+55
流通業	15	46	51	+35	319.2	+5
不動産業	251	303	318	+66	126.2	+15
その他	156	140	160	+3	102.3	+20

\*1 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。

内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

\*2 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

# 14. 諸元表

(単位: 人、億円)

	2015年3月期 2Q累計実績		2016年3月期 2Q累計実績		2015年3月期 通期実績		2016年3月期 通期予想(10/30)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
連結ROA (%)	3.1		4.0		5.1		6.1	
連結ROE (%)	6.9		8.0		8.4		11.5	
連結EBITDA*1	1,544		1,854		2,893		3,300	
連結減価償却費	722		748		1,495		1,585	
連結設備投資(自己資金)	737		792		2,256		2,310	
単体設備投資(自己資金)	583		675		1,864		1,990	
安全関連投資	224		445		902		1,230	
1株当たり配当金(円)	60		65		125		135	

\*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

	2015年3月期 2Q累計実績		2016年3月期 2Q累計実績		2015年3月期 通期実績		2016年3月期 通期予想(10/30)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	48,203	27,362	47,750	26,616	47,565	26,886	-	-
金融収支	▲ 125	▲ 121	▲ 119	▲ 113	▲ 249	▲ 243	▲ 240	▲ 231
受取利息・配当金	5	9	3	9	9	14	6	13
支払利息	130	130	123	123	258	257	246	245

# 将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2015年10月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2015年10月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>